

宮下小学校

1、地層の観察

(1) 観察する場所

沼の近くで、400 mほど山を登った道路沿いのがけ(倉掛地内)

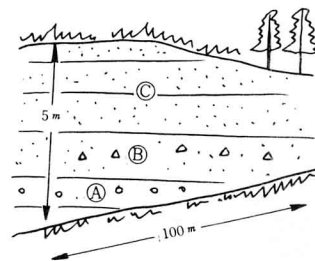
(2) がけから離れて地層全体を観察する。

① 自動車等に注意し、がけの全体が見通せる所に立って、がけの全景をスケッチする。



② 地層の重なり方、地層の色や厚さ、レキの大きさや形、葉理など気付いたことを書き入れる。

③ この高台は、A、B層のようなレキや、C層のような砂がつもって、できていることを理解する。



④ 道路に沿って100 mも露頭がつづくので、地層を追ってみよう。

地層は水平方向に広がりをもってつもっていることを理解する。

(3) 地層に近づいて、その特徴を観察させる。

A層は川原で見られるような10cm大のまるいレキがつもってできているレキ層で80cmほどの厚さです。

B層はA層に重なってつもっている5mm~1cm大の角ばったレキを含むレキからできている角レキ層で、淡い茶色をしています。

C層は砂がつもってできている砂層です。

これらの地層はいずれも、固結しておらず、土木工用砂レキとして採土利用されています。